

【学校の概要】

本校は平成7年に、旧錦町小学校と旧丸山小学校が統合され、門司海青小学校として開校した。

平成9年に新校舎が完成し、整備された教育環境の中で、特色ある教育活動を行っている。

校区は門司港、関門橋を望むレトロ事業の中心地である。開校以来、教育研究の推進にあたり、研究発表会等で授業公開しながら教育実践を行っている。平成20年度には、保健教育において、県・市の表彰を受けた。また、北九州市学校保健会から毎年、表彰されている。

平成21年度は文部科学省並びに北九州市教育委員会の研究指定を受け、電子黒板活用事業に取り組んだ。平成22年度に、北九州市教育委員会の研究委嘱最終年度となり、電子黒板を活用した研究発表会を開催した。この研究発表会は、文部科学省や教育ICT活用普及促進協議会の共催を受け、九州ブロックのICT活用実践研究事業としての発表会となった。さらに、平成25年度には、一般財団法人コンピュータ教育推進センターの共催をいただき自主発表会を開催した。

平成26年度7月からは、タブレットPC40台の導入がなされた。同年、実践交流会、平成27年度11月には、実践報告会を開催し、タブレットPCを中心にICTを活用したわかる授業の実践を積み重ねながら研究を深めている。

これまで、「ICTを活用したわかる授業」について九州各地からの教育視察や市長、教育委員、文部科学省からの視察が行われている。

今後は、蓄積した授業実践をもとにさらなる研究を推進していきながら研究発表会を通して、広報していきたいと考えている。

